

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	ドイツ語		
科目基礎情報								
科目番号	0257		科目区分		一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2			
開設学科	電気情報工学科		対象学年		5			
開設期	通年		週時間数		前期:2 後期:2			
教科書/教材	大谷弘道「ドイツ人を知る 9 章」(三修社) 大谷弘道「新・問いかけるドイツ語」改訂版(三修社)							
担当教員	神谷 美砂子							
到達目標								
① 単語を見て発音できるようになる。 ② 既習の文法知識を定着させるとともに、さらに高度な文法事項を理解する。 ③ 作文力と読解力を養成するとともに、コミュニケーション(会話や E メール交流等)ができるよう、基礎学力を身につける。 ④ ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得るとともに、日独、日欧の文化を比較検討する。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
単語を見て発音できるようになる		単語を見て発音する問題を正確に解くことができる。		単語を見て発音する問題をほぼ正確に解くことができる。		単語を見て発音ができない。		
既習の文法知識を定着させるとともに、さらに高度な文法事項を理解する		学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題を正確に解くことができる		学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題をほぼ正確に解くことができる		学習対象とした基礎的な文法を理解していない。		
作文力と読解力を養成するとともに、コミュニケーション(会話や E メール交流等)ができるよう、基礎学力を身につける		文の構造理解、テキストレベルの読解力、作文力、基本的コミュニケーションに関する問題を正確に解くことができる。		文の構造理解、テキストレベルの読解力、作文力、基本的コミュニケーションに関する問題をほぼ正確に解くことができる。		文の構造を理解してテキストレベルの読解力を獲得できず、作文力を獲得せず、基本的コミュニケーションができない。		
ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得るとともに、日独、日欧の文化を比較検討する。		ドイツ語圏の文化や生活の理解、日独、日欧の文化比較に関する問題を正確に解くことができる。		ドイツ語圏の文化や生活の理解、日独、日欧の文化比較に関する問題をほぼ正確に解くことができる。		ドイツ語圏の文化や生活を理解し、日独、日欧の文化比較ができない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	前年度に学習した内容に加え、より高度なドイツ語の語彙、文法等について理解を深める。							
授業の進め方・方法	初年度よりも高度な教材を使用し、演習形式の授業を行う。							
注意点	毎回課題提出と添削指導がある。添削結果を吟味し、理解を深めること。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	第 1 回: テキストの読解 現在完了 (1)			テキストの読解ができる。現在完了 (1) が理解できる。		
		2週	第 2 回: 表現練習 現在完了 (2)			現在完了 (2) が理解できる。		
		3週	第 3 回: 表現練習 話法の助動詞の完了形			話法の助動詞の完了形が理解できる。		
		4週	第 4 回: テキストの読解 受動 (1)			テキストの読解ができる。受動 (1) が理解できる。		
		5週	第 5 回: 表現練習 受動 (2)			受動 (2) が理解できる。		
		6週	第 6 回: 表現練習 再帰動詞			再帰動詞が理解できる。		
		7週	第 7 回: テキストの読解 zu 不定句 (1)			テキストの読解ができる。zu 不定句 (1) が理解できる。		
	2ndQ	8週	第 8 回: 表現練習 zu 不定句 (2)			zu 不定句 (2) が理解できる。		
		9週	第 9 回: テキストの読解 関係代名詞			テキストの読解ができる。関係代名詞が理解できる。		
		10週	第 1 0 回: 表現練習 関係代名詞 (2)			関係代名詞 (2) が理解できる。		
		11週	第 1 1 回: 表現練習 関係代名詞 (3)			関係代名詞 (3) が理解できる。		
		12週	第 1 2 回: 表現練習 命令形 疑問代名詞			命令形 疑問代名詞が理解できる。		
		13週	第 1 3 回: テキストの読解 接続法 (1)			テキストの読解ができる。接続法 (1) が理解できる。		
		14週	第 1 4 回: 表現練習 接続法 (2)			接続法 (2) が理解できる。		
		15週	期末試験					
後期	3rdQ	16週	第 1 5 回: 表現練習 接続法 (3)			接続法 (3) が理解できる。		
		1週	第 1 6 回: 強変化動詞、分離動詞の復習と発展学習			強変化動詞、分離動詞が理解できる。		
		2週	第 1 7 回: テキストの読解と表現練習 Feste und Feiern			テキストの読解ができる。Feste und Feiernを使った表現ができる。		
		3週	第 1 8 回: 前置詞と造語法の復習と発展学習			前置詞と造語法が理解できる。		
		4週	第 1 9 回: テキストの読解と表現練習 Hotel "Mama" ist immer beliebter!			テキストの読解ができる。		
		5週	第 2 0 回: zu 不定詞句と反対語についての復習と発展学習			zu 不定詞句と反対語について理解できる。		
		6週	第 2 1 回: テキストの読解と表現練習 Deutsche Schüler sind aktiv!			テキストの読解ができる。Deutsche Schüler sind aktiv!を使った表現ができる。		
		7週	第 2 2 回: 助動詞の復習と発展学習			助動詞が理解できる。		
	4thQ	8週	第 2 3 回: テキストの読解と表現練習 Einmal darf man durchfallen!			テキストの読解ができる。Einmal darf man durchfallen!を使った表現ができる。		
		9週	第 2 4 回: 関係代名詞の復習と発展学習			関係代名詞が理解できる。		
10週		第 2 5 回: テキストの読解と表現練習 Mensch und Tier			テキストの読解ができる。Mensch und Tierを使った表現ができる。			

		11週	第26回：受動態の復習と発展学習	受動態が理解できる。
		12週	第27回：テキストの読解と表現練習 Privatsache?	テキストの読解ができる。Privatsache?を使った表現ができる。
		13週	第28回：前置詞と前つづりの復習と発展学習	前置詞と前つづりについて理解できる。
		14週	第29回：テキストの読解と表現練習 Gesetze und die Deutschen(1)	テキストの読解ができる。Gesetze und die Deutschen(1)を使った表現ができる。
		15週	期末試験	
		16週	第30回：テキストの読解と表現練習 Gesetze und die Deutschen(2)	テキストの読解ができる。Gesetze und die Deutschen(2)を使った表現ができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	100	30	130
試験	100	30	130
専門的能力	0	0	0